

氷河期を乗り越えろ

道内高校生の就職内定状況について、先日の15日現在63.1%という結果であることが明らかになりました。

昨年同期と比べると6.9%の増とはいえ、他都府県と比較すると沖縄県に次いで低く、依然として厳しい状況が続いています。

高校生諸君がこれから社会に出ようという、正にその第一歩で躓いてしまうことは非常に残念です。

北海道の子どもたちは、地元志向が強く、道外に行きたがらない。そのため、どうしても選択肢が狭くなって、その分就職の機会にも恵まれないという話を聞いたことがあります。

確かに、そうした傾向はあると思いますが、そうはいつでも、道内における雇用の場が極めて少ないこともまた事実ですので、国や自治体には雇用創出に向けた対策にしっかりと取り組んでいただきたいと考えています。

同時に、教育においても、小学校から高校までの発達段階に応じたキャリア教育に、もっと力を入れる必要があると思います。例えば、高校生のインターンシップ一つとっても多くの学校で取り組まれるようになってきましたが、まだ十分ではないと思います。

それぞれの学校において、将来の職業生活に結びつくような、活きたキャリア教育に是非取り組んでいただきたいと願っています。

また、最近では、無理をしてまで就職しなくても良いと考える親もいるようで、子どもたちもそうした空気に甘えている面もあるでしょう。とすれば、キャリア教育の前に人間として自立することをしっかりと教える必要があります。（塾頭 吉田 洋一）